

自殺の原因は、 あなただけの問題では ないのです

日本は自殺が多い国です

日本では、一〇年連続で三万人以上の方が自殺で亡くなっています。世界では九番目、先進国の中では二番目に自殺が多い日本。どうして日本は自殺が多いのでしょうか？

その理由は、これまで日本では「自殺は本人が望んで死を選んだ」と誤解されてきたからです。自殺は個人的な問題だから、と日本では対策を行ってこなかったのです、こんなにも自殺が多くなってしまったのです。

世界の研究結果から、自殺とは、個人の力ではどうにもできない多くの「社会的な要因」が背景にあつて、心理的に追いこまれた末に起こる死だとわかってきました。

社会的な要因とは、たとえば長い不況です。不況が続くとたくさんの会社が倒産、失業者が増えていきます。つぶれなかった会社もできるだけ安い給料で人を雇います。それでは生活ができないので、生活費が足りなくなり、借金を繰り返し、借金が雪だるま式に増えていきます。こうした日々が

続いて、どんどん逃げ場がなくなつて心理的に追いつめられた末に、自殺が起こってしまうのです。

自殺は防ぐことができます

自殺は「防ぐことができる死」です。自殺が社会的な要因によつて起こるのなら、逆に社会的な取り組みでその要因(失業、多重債務、健康問題など)を解決すれば、自殺を減らせるのです。かつてフィンランドでは自殺がとて多かったので、国をあげて徹底的な対策を行った結果、大きく自殺が



横須賀市議会議員／地域の自殺対策を推進する地方議員有志の会代表

藤野 英明